

近畿地域地連幹部講習会に参加して

(受講者の報告書の中から)
平成20年7月5～6日(京都武道センター)

(藤岡) 両日共に、午前は和服で1日目は審査の間合いで一
手行射や講師の先生方の射の見取稽古、二日目は射礼研修、
午後は二日共に道衣に着替えての射技研修で、本当に充実し
た時間を過ごせました。講習会で道衣というのもあまり経験
が無かったのですが、京都の暑さ耐え切れなくなる前に着替
えさせていただいたので、誰も倒れることなく、なんとか無
事に乗り切ることが出来ました。

射技については、本当に様々な方法をご教授いただきまし
た。恐らく、全てご自身で試しておいでだと思います。主任
講師の柴田先生の言葉に、一流になる条件として、

やる気があること

素直であること

創意工夫(プラス運、付いている者と付き合うと続きます)

とありましたが、体現しておられる分だけ重みがあります。
解説付きで先生の射を拝見させていただく機会にも、いろい
ろな射をみせていただきました。高橋先生の一見怒られてい
るような、でも愛情たっぷりのご指導や、島田先生の丁寧で
実直なご指導、次にお目にかかれるまでに課題を出来るだけ
消化していきたいと思えます。本当にありがとうございました。

(竹田) 盆地特有の高温多湿にもかかわらず、講師の先生方
はとても元気に範を示していただいた。特に柴田先生のだの
ような体勢からでも詰合い・伸合い・離れに到る妙技には、
名人を感じさせられた。

講師の先生方の姿勢やお話から、自分自身の未熟さとまだ
まだやらなければならないと、いっそう強く思う。このよう
な講習会に参加する機会を与えていただいたことに感謝する
と共に、これから厳しく修練に励む必要を感じさせられた。

(阪中) 弓しか考える必要のない二日間は、大変集中できる
ものでした。また、たまたま射技研修時間が多くあり、比較
的緊張した中で、数多く練習することができました。このこ
とに関しては、幸運だったと思います。

3講師の先生方のお考えや射風の違いについては、数本づつ
話しながら引いていただける場面があり、大変よくわかるも
のでした。また、3先生の個性は違うものですが、それぞれ、
さすがと思う部分をお持ちで、個人的にはあまり接すること
のなかった先生方でしたので、範士という格の、これまでと
はまた違った味わいを感じることができたと思います。

第59回 奈良県中学校総合体育大会

日時：平成20年7月21日(月)

主管：奈良県中学校体育連盟

会場：橿原公苑弓道場

種目・種別：男子・女子 近的 団体戦
および個人戦(各人12射)

参加者数：男子60名、女子87名

[団体戦]

男子 1位 白檀中A(階戸、山本、兼近)(26中)
2位 天南中A(松本、檜尾、桜井)(19中)
3位 八木中A(堀江、山下、長尾)(18中)

女子 1位 檀原中A(皿井、杉本、仁田)(21中)
2位 香芝中D(河南、北林、畑山)(16中)
3位 檀原中G(相谷、松田、平田)(15中)

[個人戦]

男子 1位 白檀中 山本 雅也(10中)
2位 八木中 長尾 怜哉(10中)
3位 白檀中 兼近 深宇(8中)

女子 1位 檀原中 仁田 奈名美(9中)
2位 香芝中 水谷 優希(9中)
3位 檀原中 松田 政美(8中)

各団体・個人の1位は8/16(土)、17(日)
に行われます全国中学生弓道大会(於 全弓連中央
道場・明治神宮武道場至誠館弓道場)に出場します。

第216回 審査の結果

7月20日(日)橿原公苑弓道場にて実施。105名の
申請者が平素の修練成果を披露しました。
その結果は次の通りとなりました。

級位 40名
初段 23名
二段 11名
参段 7名
四段 該当者無し

(審査部)

平成20年度 奈良県女子講習会

7月13日、女子講習会が橿原公苑弓道場にて開催されました。無級から称号者まで48名という多数の参加がありました。当日は本当に蒸し暑く、文字通り一日汗を流しながらの講習会となりました。暑かったですが、低段者の方の和服の着用率が非常に高く、女子講習会ならではの禪さばきも習熟度によりグループに分かれ熱心に稽古しました。

各人の射技研修の時間をできるだけ多くするよう工夫しましたが、十分な時間がとれなかったことは残念でした。しかし、多数の女子会員に参加していただき、本講習会の目的のひとつである奈良県女子の幅広い層での交流は達成されたと思います。暑い中休憩もろくに取らずにご指導くださいました講師の深田、吉岡、岡本薫子先生、本当にありがとうございました。(辰巳好美)

9月 10月の行事予定

- 9月7日(日) 全日、国体、ねんりんピック壮行会(橿原)
- 9月15日(月) 布の目弓道大会
- 9月19日~21日 全日本男子弓道選手権大会(中央)
- 9月21日~23日 全日本女子弓道選手権大会(中央)
- 9月20日(土) 県高校 総体2次予選(橿原)
- 9月23日(火) 近畿高校弓道大会県予選(橿原)
- 9月28日(日) 近畿地域連合審査(橿原)
- 10月4日~7日 国民体育大会 弓道競技(佐伯市)
- 10月19日(日) 近畿地域弓道選手権大会(京都武道センター)
- 10月24日~26日 全日本弓道遠的選手権大会(中央)

中央審査の案内

実施日	名称 場所	県内〆切
11/30	(東海) 錬士臨時中央(鈴鹿市)	9/19
12/1, 2	(九州) 臨時中央(福岡市)	9/19
12/6, 7	(近畿) 臨時中央(京都市)	9/26

歳時記

九月 萩の花見

春の七草が、厳寒の雪の中に頭をのぞかせる美しい淡い緑の葉の勢いを「かゆ」にまぜて食するのに対し、秋の七草は日本古来の野の花をめぐる花見の行事です。ことに萩は、奈良、平安の時代に萩の宴の催しが行なわれていたほどで花見の中心でした。萩、尾花、葛の花、撫子(なでしこ)の花、女郎花(おみなえし)、藤袴、朝顔の花、あるいは桔梗(ききょう)と、どれをとりあげても日本の美しさを示しています。このほかに、水引き草やかるかやなども入れたい花です。



秋の花に対し、中秋の名月とが後の月として、秋に月をめめたことも美しさの本質をみつめています。(中略) 中秋が九月十七日ごろ(陰暦八月十五日)になります。秋の澄んだ空に清く浮かぶ中秋の名月、秋の草花の黒い陰、すすきの穂は光に美しい影を添えます。後の月は陽暦十月十五日ごろ(陰暦九月十三夜)です。月見にはすすきを生け、団子、栗、柿、ぶどう、枝豆、いもなど季節の果物や野菜を供えて月を迎えました。潤年にはお団子は十三個などの定めもありました。九月十六日は放生会(ほうしょうえ)の日です。生き物を放す日で、ことに鶴岡八幡宮の放生会は古くから行なわれていました。魚、鳥、獣など平日食用に供され、狩猟の対象とされている物を、この日に供養して生物を放す法会です。鶴岡八幡宮では鎌倉時代には、狩猟において最も獲物を多く捕らえた者の中から、この日の流鏝馬の射手を選んだことなどが「吾妻鏡」に記されています。



小笠原家では毎年この行事に奉仕し年間を通じた稽古を続けています。九月十六日午後一時、神事は開始されます。まず舞殿にて修祓の儀があり、後に乗馬して馬場に入って流鏝馬の神事が開始されます。百二十間(約218メートル)の昔ながらの馬場で、現在の改良された馬格の大きな優秀馬によって、昔そのままの儀式を行なうのですから、技もむずかしくなってきました。馬を馳せながら、三つの的を次々に射っていきます。最近までは農事と結び付けて、三つの的にそれぞれ稲の収穫を願いました。一の的は早稲、二の的は中、三の的は奥手の豊作を祈って、広く関東一円の農家にとっては信仰的な集まりでさえありました。現在では農事との直接の関連は薄らいでしまいましたが、国際的な観光行事の一つとして、国の内外を問わず、数多い日本の行事の中でも特に知られているものです。

「小笠原流マナー」 著者小笠原清信 グラフ社発行より